

# 桑名文化協

平成26年9月20日  
第 36 号  
桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361  
http://bunkyo-kuwana.jp

## ご挨拶

桑名市文化協会

会長 今村和子



私が桑名市文化協会の会長にならせていただいた一年がすぎました。十二年の間副会長を務めさせていただきました。会長になってみて、初めは最終責任をとる覚悟さえあれば会長の方がひまがありゆつたりしていると思いましたが、そう見えたのは最初の半月位でした。色々な団体の会議への出席要請等々で、今までのように副会長として行事を担当すれば済むというものではありませんでした。

前会長がお一人ですべて引き受けてやってくれて下さったこと、本当にありがたく感じました。

そのため、会長交替の時にも戸惑わず業務が継承されていくようにと色々な要請に必ず全副会長に声をかけて一緒に出席していただくような体制にしたいとお願ひしております。ありがたいことに、急に入ってくる会議等にも皆快

く出席して下さいます。

それぞれの立場(部門)で意見が違ふことも多々ありますが、それを会議の折に他の人々(多くは行政)にも知っていたいただき、我々の仲間としても理解するということが、とても協会にとって有意義だと思います。

このところの異常気象等に世界中の人々が踊らされているようです。日本やアメリカでは大雨、洪水、お隣りの中国では干ばつ、地震、それに加えて西アフリカの国々ではエボラ出血熱で多数の死者が出ております。何か人間のおごりを神にいさめられているような気がします。世界中の人が皆手をとり合せて仲良くしていきたいという声が聞こえてくるようです。

文化協会も市からの予算がおさえられ、今までと同じというわけにはいかななくなっておりますが、ありがたいことに各部門の皆さんの争奪戦にはならず、主張すべきは主張して、我慢すべきは我慢してと、全体を見て譲り合いの心で皆さんが活動して下さるよう思えます。

秋には文化協会の行事が多くなります。皆さんそれぞれにお忙しいこととは思いますが、部門、ジャンルを越えて色々な文化を見て、聴いて、感じていただきたいと思ひます。

そこから文協の仲間としての意識も生まれ、共に桑名の文化のための協会を発展させたいということに繋がっていくればと願っております。

## ご挨拶

桑名市文化協会

副会長 森 一蔵



今年で二十二年目を迎える文化協会には、今村会長と殆ど同期間関わって来ました。二十二年前は茶華道のみが加わったのが、音楽、美術、演劇等が加わった団体になりました。それには諸先輩の努力と見識が在って実現しました。

桑名は旧藩で多くの伝統を内に持っている様に思えます。人脈は網目の様に絡み合い情報はその目に沿って、瞬く間に伝播して行きます。小魚は網に掛からず下に落ちてしまうのです。其の様にして伝統は守られて来ましたが、しかし、落ちた中に明日の桑名市の文化を担う小魚が居るかもしれません。桑名文化協会は細かいメッシュの網でありたい、夢のある小魚を救い取りたい、その中から新しい風が起り桑名の伝統として未来に繋げて行く事ができます。桑名市文化協会は桑名の文化の解る文化協会ではなくてはならない。例えば萬古焼の祖、沼波弄山(ぬなみろうざん)は桑名船馬に生家がありました。桑名の千羽鶴の折り方の原本を、京都の古書店で見つけて桑名市に紹介したのは、四日市の佐藤証明氏です。忘れてはいけない事です。

話は変わりますが今パラミタミュージアムで岡田文化財団三十五周年記念として「清朝の陶磁展」が開催されています。(九月二十九日迄)去年の十月京都国立博物館をかきりに、十二月長崎歴史文化博物館、今年五月、奥田元宋・小由女美術館(広島)ときてパラミタミュージアムが最終です。何故清朝陶磁と岡田文化財団が結びつかると言いますと、財団には萬古焼再興の祖森有節のコレクションがあるからです。展覧会の図録を京都国立博物館工芸室長(当時)の尾野善裕氏が解説をしています。その中で「清朝乾隆年間(一七三六―一七九五)後半以降、日本へ盛んに輸出された十錦手を含む粉彩磁器は、それまで極彩色の陶磁器とは縁遠かった多くの日本人を驚かせたに違ひなく、その強い影響が各地の陶磁器に認められる。とりわけ、粉彩技法の撫子色(ピンク)の再現には、各地の陶工が挑戦しているけれども、どうやら日本でいち早く成功させたのは、伊勢の萬古焼を再興した森有節(一八〇八―一八二二)・千秋(一八一六―一六四)の兄弟だったらしい。その時、日本はまだ明治維新を迎えるまえたつた。」と、述べられております。桑名の萬古焼が時代をリードする焼物だったことを萬古焼に携わる人間として誇らしく思ひます。(三重郡朝日町は、旧桑名藩内であり有節萬古は桑名萬古焼です。)

皆様、是非「清朝の陶磁展」に出かけて下さい。

今年の第六十五回みえ県展で入賞された桑名市文化協会会員の方を紹介いたします。

◆工芸部門 すばらしきみえ賞

廣山三千代さん

◆写真部門 岡田文化財団賞

伊藤 憲治さん

# 第23回 桑名市民芸術文化祭

## プログラム



2014.  
10/4(土)・11/30(日)  
2015.  
1/17(土)・18(日)

会場 / 桑名市民会館・くわなメディアライヴ・六華苑  
主催 / 桑名市・桑名市教育委員会・桑名市文化協会



新春六華苑祭 | 【会場】六華苑 【日時】2015年1月17日(土)・18日(日)  
【共催】(一財)桑名市文化・スポーツ振興公社



### ●協賛事業

11/16(日)  
9時50分～16時

「能に親しむ 謡と仕舞」  
第28回桑名能楽連盟発表会  
桑名市民会館 小ホール

2015年2/11(水・祝)  
10時～15時

遠州流茶道三重支部  
春乃茶会  
六華苑 一の間、二の間

10/4(土)・5(日)  
4日 ファッションショー  
14時～16時(開場 13時30分)  
5日 作品展示と体験  
9時～16時

くわコレ'14  
桑名市民会館 小ホール  
作品展示と体験  
桑名市民会館 展示室

10/11(土)・12(日)  
11日 9時～17時  
12日 9時～15時

趣味教養祭  
桑名愛石会第38回水石展  
くわなメディアライヴ 多目的ホール

10/25(土)・26日(日)  
25日 囲碁大会  
10時30分～19時(受付 9時30分)  
26日 将棋大会  
10時30分～19時(受付 9時30分)

趣味教養祭  
市民囲碁・将棋大会  
桑名市民会館 大会議室

10/26(日)  
9時30分～12時30分

小倉百人一首  
初心者かるた取り大会  
六華苑 一の間

11/1(土)・2(日)  
1日 9時～17時  
2日 9時～15時

趣味教養祭  
彫型画  
桑名市民会館 展示室

11/1(土)・2(日)  
1日 9時～17時  
2日 9時～15時

趣味教養祭  
パッチワーク、きもの  
桑名市民会館 大会議室

11/2(日)  
9時30分～16時30分(開場 9時)

吟剣詩舞道の祭典  
桑名市民会館 小ホール

11/2(日)・3(月・祝)  
10時～16時

華道展  
六華苑 会議室・番蔵棟

11/3(月・祝)  
10時～15時30分

お茶会  
六華苑 一の間・裏千家  
二の間・煎茶 松風流

11/2(日)・3(月・祝)  
①10時～11時30分  
②14時～15時30分  
いずれも開場は30分前

演劇集団Cブレンド  
プレゼンツ『ゲキゲキ!』  
くわなメディアライヴ  
多目的ホール

11/9(日)  
12時30分～16時30分(開場 12時)

ダンス、DE、パフォーマンス“2014”  
桑名市民会館 大ホール

11/9(日)  
13時～16時30分(開場 12時30分)

音楽のフルコース  
桑名市民会館 小ホール

11/20(木)～23(日)  
20日 12時～17時  
21・22日 9時～17時  
23日 9時～16時

美術部門展  
くわなメディアライヴ  
多目的ホール

11/22(土)・23(日)  
22日 13時～16時(開場 12時30分)  
23日 10時～16時(開場 9時30分)

芸能の祭典  
桑名市民会館 大ホール

11/30(日)  
10時～12時(開場9時30分)

社会文化部門展  
石取祭車装飾の歴史(講演)  
桑名市民会館 展示室

2015年3月発行  
『桑名文協』

文芸作品掲載  
各公民館・センターに設置予定

# 桑名市民芸術文化祭へのお誘い

## 石取祭車装飾を通して

### 桑名の職人技を知ろう

社会文化部門 小川 雅生

平成二十七年五月三十日に「全国山・鉾・屋台保存連合会」の総会が桑名で行われる。



この会は国指定の重要有形・無形民俗文化財の指定を受けた祭屋台等の保存団体と保存技術会員等により構成されており、当日は総会・研修会・交流会そして石取祭の視察が行われ、翌三十日は伊勢一の鳥居建替奉祝祭が行われる。両日とも石取祭車が多数参加を予定しており桑名大会に花を添える。

「祭屋台等製作修理技術者会」の研修会では、「石取祭車装飾の発生と発展そして現状」と題して講演を行う予定である。祭車の発達に伴い装飾が幕のみの簡易な姿から漆塗り・鍍金具・彫刻など目を見張るような美麗な姿へ変貌を遂げるが、その多くは地元桑名の職人が支えてきた。祭車を通して、その知られざる職人を取り上げ、いち早くその内容を聞いていただきたい。

## 演劇集団Cブレンド『ゲキゲキ！』 演劇って、楽しい！

演劇部門 相原 千景

十一月二日～三日、メディアライヴ多目的ホールにて、演劇集団Cブレンドがお送りする『ゲキゲキ！』は、ご来場いただいたお客様と一緒になって楽しむ、参加型の公演です。Cブレンドは、今年から、「おはなしのハコ」という、0歳の赤ちゃんから楽しめる紙芝居

読み聞かせイベントを始めました。現在、産婦人科ゆずり葉、寺町通商店街で、それぞれ月一回のペースで開催し、ご好評をいただいています。お客様から、もっと子供たちに芝居らしい演目も見せたい、というリクエストをいただき、今回のイベント型公演を行うことにしました。

短い芝居を二本ほど、そして、オリジナルの紙芝居作品も作っています。また、観客の皆さんの中から参加者を募り、一緒に発声練習、体を動かす基礎練習をする、ワークショップ形式のプログラムもあります。そして、台本なし、団員たちがその場で思い付くままに芝居をする即興劇では、観客の皆さまからその場で「お題」を頂戴し演じていきます。臨場感たっぷりでお楽しみいただけるでしょう。

芸術の秋。小中学生の皆さんには、一緒に体を動かして、小さな子供たちには、身近で役者が演じる楽しい演劇の世界に触れて、楽しんでいただきたいと思えます。もちろん、大人がクスツと笑えるCブレンドならではの小ネタも、たくさんちりばめますよ。授乳やおむつ替えができ、飽きてしまった小さい子供たちが遊べるキッズスペースも用意してお待ちしております。ぜひ、ご家族でお出かけください！時間は、午前中が十時～、午後は十四時～です。

## 美術部門展に思うこと

桑名美術クラブ代表

安田 隆亮

桑名市民芸術文化祭は、桑名の文化の祭典として毎年芸術の秋に開催されています。美術部門展が、ここ数年今つ盛り上がりがないのを感じます。観客数があまり増えて来ません。美術部門と比べて芸能部門はいいかなんてでしょうか。芸能部門に於い



では、市民会館の大ホール・小ホールと、大山田コミュニティプラザ文化ホールがあり発表の会場には恵まれていて、その面では美術部門としてはうらやましくもありません。そして発表会も観て華やかな雰囲気もあります

し美術部門はひたすら制作したものを展示会での発表です。芸能部門に比べると華やかさはありませんが、どちらも沢山の人が観て頂くことに喜びを感じます。お客さんが少なくて、張り合いがない訳です。又、美術部門は展示会場にも恵まれていなく、美術部門には大きく分けて絵画・書道・彫刻・工芸・写真の五つの分野があります。芸術祭の美術展は、全分野が多目的ホールにての展示になります。美術部門は文化協会の多数の会員を占めていますだけに五、六年に一度しか展示する機会が回って来ないのが現状です。展示頻度が少ないという事も一因でしょうか。出展者を増やす事が観客数を増やすことにもつながります。発表の頻度を増やせば活性化に繋がるとは思うのですが、今、会期は四日間ですが前半、後半に分けて、会期は倍に、出展者も倍にするのも一つの方法だと思います。もっと展示会にかかわりを増やせばもう少し活性化できるのではと思うのですが、活性化に向けて皆さんの指導・協力を頂きたいのという知恵がありましたらアドバイス頂けます様に。

## 音楽のフルコースへのお誘い

音楽部門(ピアノスタディ)

水谷 直美

私共が、文化祭に出演させていただくのは、今年で三回目となります。発表会とち



が、十五分に集中して、ひとつのステージを作ることに楽しさを経験できました。

「ピアノスタディ」とは言葉のとおり、ピアノのお勉強ですが、当教室は、同時にリトミック(見て、聴いて、触れて心で感じたことを身体を使って表現すること)と心の協調と調和を作り出そうとする力を育む)を取り入れ、表現力豊かなピアノ演奏ができることを目的とした教室です。文化祭は、その成長途中の確認、証しとして子どもたちの無限の可能性を実感できる場であります。十五分のドラマは、過去二回を振り返りますと、題目は決めていましたが、構成は考えながらの練習でした。子どもたちからあふれる感性で命をふきこまれたように、みるみる生き生きとした作品に仕上がっていききました。まさしく、私のめざす、心で奏で、みずから作り出す、ということができたのです。そんなステージを見たとき、私は「音楽ってすばらしい」と心からそう思えたのでした。三回目は十四名の発表です。どんなドラマができるのか、楽しみです。今年も団体個人合わせて八組の出演で、クラシック、ポップス、ジャズと、ジャンルも様々です。どの会員の方も練習に励んでみえると思えます。みなさんは、お食事のフルコースを召し上がったことがありでしょうか、最後のコーヒを飲み干した時、満腹で幸せな気分になります。音楽のフルコースも同じです。すばらしい演奏に心が満たされ、あらためて「音楽っていいね」と実感されることでしょうか。さあ今年は何んな舞台がくり広げられるのでしょうか。十一月九日、市民会館小ホール、十三時開演です！すばらしい音楽のフルコースへ、是非、お越しください。

## 平成 26 年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧 (一次募集)

団 体 名	事 業 名	開催期日
宮永洋子箏曲・三絃教室	お琴でお花見コンサート 箏・三絃・17絃&揚琴	H26.4.12
るり茂会	第13回るり茂会	H26.5.11
ピアニストの会「フリーゲル」	第42回フリーゲルコンサート「音楽の都ウィーン」	H26.5.31
彫型画サークル	第22回伊勢型紙彫型画桑名合同展	H26.7.23～H26.7.27
青黄会	第27回 青黄会絵画展	H26.8.14～H26.8.17
全日本写真連盟桑名支部	全日本写真連盟桑名支部写真展	H26.9.25～H26.9.28
トーンポップスオーケストラ	第19回トーンポップスオーケストラ	H26.11.1
一諾書道会	第31回 一諾展	H26.11.14～H26.11.16
装賀きもの学院桑名支部	装賀きもの学院装賀会(十二単の衣紋・人生儀礼)	H26.11.22
劇団すがお	日韓演劇交流25周年・劇団馬山(韓国)劇団すがお合同公演	H26.12.7
伊藤好子&ダンシングステップ	JAZZ DANCE FESTIVAL "The 12"	H26.12.22～H26.12.23

※この中から2部門の方々に活動紹介をしていただきます。

### 第十二回 るり茂会を終えて

芸能工部門(日本舞踊内田流るり茂社中)

佐藤 康代

去る五月十一日(日)、桑名市民会館大ホールにて、第十三回るり茂会を開催させていただきました。和物の発表会は縮小傾向が続く昨今ですが、二十七演目三十名と大変盛大に催させていただきましたのは、日本の伝統文化が息づく城下町桑名だからこそ事だと、改めて桑名でお稽古させていただける喜びを感じました。

また、今回は特別出演としまして、桑名出身で現在歌舞伎界でご活躍の六世嵐橋三郎丈にご出演いただき、『那須の与一扇の的』をご披露いただきました。ご覧いただいた方は、表現力豊かな舞踊と迫力ある台詞回しに感動された事と思います。

私たち社中一同としまして、会主内田るり茂の指導のもと、月々積み重ねてまいりましたお稽古の成果を、精一杯ご披露させていただきました。お目だるいとところも多々あった事と存じますが、大勢のお客様に



お越しいただき、多くの温かい拍手をいただきました事を心よりお礼申し上げます。  
るり茂社中一同、これからもより一層精進を続けてまいりますので、今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

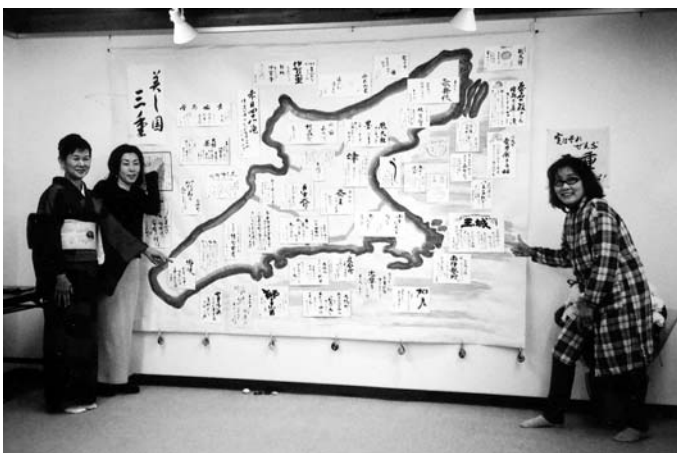


### 第三十一回 一諾展開催

書道部門(一諾書道会)

寺尾 如楓

年賀状が上手に書けたら…好きな言葉を書いて部屋に飾りたいな…。そんな思いから始まったお稽古ですが、歩めば歩む程厚い壁の存在を感じ、そしてそれ以上に筆を持つ楽しさを味わいながら、一生稽古と知識・技・温かい心を磨き作品制作に励ん



でいます。  
第一回展は「パール」の催場でした。昨年三十回展を終えることが出来ました。有難うございました。十回展記念にと六華苑の番蔵棟をお借りした処、すばらしい環境に来観者のみならず出品者も感激、その後お借りして今日に至っております。一回からの恒例のお抹茶のお接待も、今は離れ屋でゆくり召し上がっていただいています。毎年テーマを決めて、出品者全員での寄せ書きもしています。一昨年は我が故郷「美し国三重」の観光小マップを作成し、好評でした。今年は、十一月二十八日〜三十日開催の予定です。沢山の方々にご来場いただき、書の楽しさを感じて下さればと存じます。

# この技紹介

## 短歌へのお誘い

文学部門 (金雀枝短歌社)

上田 順子

金雀枝の歴史は長く、昭和二年に水谷一楓先生を中心に創刊され七十七年を迎えました。

歌会は各地別に毎月定例会を実施し、短歌誌「金雀枝」を月一回発行しております。年に一回「金雀枝短歌大会」が、桑名シティホテルにて、講師の先生をお招きし文学講演会も開催されます。

短歌と聞けば、五七五七七のリズムで文語体、旧かななどのイメージが、俵万智氏の「サラダ記念日」の発刊により、口語体、新かなでもいいんだとの親近感を覚え、当時大ブームを巻き起こし、短歌を詠んでみようかな?と思われた人達も多かったと思われまます。実は私もその一人です。

とは言っても、金雀枝も寄る年波には勝てず歌友も高齢化が進み、短歌を少しでも将来に向け広めていこうと、普及、振興に努めております。その一環として、桑名市内の小中学校に出向き短歌作品の応募をお願いしております。優勝作品は「一楓山城顕彰大会」として「金雀枝短歌大会」で表彰式を行い、今回十七回を迎えました。その作品は歌誌に紹介しております。

子供達の作品は本当に純真で、思いもつかぬ豊かな感性に、こちらの方が勉強させられる思いがします。私は最近「自由律歌集」の本を読みました。著者は「短歌は口語で書

こう、思っている事はずばり述べよう、五七五七七のリズムにとらわれず、一行でも五行でも自分の暮らしをおおらかにうたおう、これが私の短詩形文学―自由律短歌だ」と主張している。この様に短歌とは自由なのです。

歌材は身近な所に探せば転がっています。

ご一緒に短歌を作ってみませんか。あの頃こんな短歌を作っていたのかと、その時を思い出しながら懐かしんだり、悦にいつたりしております。趣味の友とおしゃべりも楽しく話はずきません。如何でしょうか？

## 自分を表現する 手段のひとつ ジャズダンス

芸能Ⅲ部門

(伊藤好子&ダンシングステップ)

伊藤 好子

ジャズダンスを世界に紹介したのは、ウエストサイドストーリー。ジーンズにTシャツ、スニーカーで踊る若者たちの姿は世界中を魅了しました。ジャズ音楽とともにルーツはアメリカ大陸にあり、バレエ、モダン、民族舞踊等の影響を受けながらニューオリンズ、シカゴ、ニューヨークへと流れ、今ではアメリカを代表する文化のひとつとなっています。簡単明瞭な表現方法で「今を的確」に自己表現することのできる要素をもったダンスのひとつだと思います。作品の曲は、ディズニー、Jポップ、クラシック、ミュージカル等、その曲のイメージの持ち味を生かしながら、各クラスに合った振付けを工夫

して、作品を作ります。練習は「バレレッスン」で姿勢を整え、柔軟性を養い「アイソレーション」でダンスのテクニクの動きを取り入れ「ストレッチ」で筋肉を強くしなやかに整え体を温かくして「トレイン」に入ります。ジャズウォーク、ターン、ジャンプ、ステップ等をしてダンスの基礎に必要な動きを練習します。舞台発表に向け幼児から成人まで年齢差はありますが振付けの練習、リハーサルを通じて「心をひとつ」にすることの大切さを学び助け合いの中から責任感も芽生え、一体感を覚え達成感を味わうことで生活の中にも活気や自信も生まれます。ダンスに限らず習い事は継続することが大切です。上達はすぐ目にとらえることは出来ず、地道なトレーニングの積み重ねで時間もかかりますが、筋肉に少しづつ覚えさせ集中力、創造力を養っていくことをめざします。同時にチームワークの大切さを学んでもらうよう、常に前向きに作品に取り組み姿勢を崩さず、練習に精進し、表現力に磨きをかけダンスを観てもらった人に元氣、勇気を与えられるよう活動していきま



## 第二十三回

### 桑名市民芸術文化祭

## ポスター入賞者表彰式

今年度の文化祭ポスター原画市長賞には、市内在住の小栗衣里加さんが選ばれました。小栗さんの原画は桑名の千羽鶴をモチーフにした素敵な作品です。

佳作には、市内在住の大谷典子さんが選ばれました。

八月一日(金)に表彰式を行い、教育委員会部長と今村会長に表彰していただきました。



左から近藤部長、小栗衣里加さん代理いつ子さん、森副会長、大谷典子さん、今村会長

第23回  
桑名市民  
芸術文化祭

2014.  
10/4e-11/30e  
2015.  
1/17e-18e

会場 桑名市民会館 2F 大ホール  
主催 桑名市民芸術文化祭実行委員会  
協賛 桑名市 桑名商工会議所 桑名市教育委員会

新刊 六 無料 祭 | 桑名市 | 桑名市市民会館 | 桑名市 | 桑名市市民会館 | 桑名市 | 桑名市市民会館

# 桑名地名あれこれ(11)

## 本願寺

社会文化部門  
(個人会員)

大河内 浩

桑名市内に本願寺という地名があります。現在、日進小学校の南西、東鍋屋町と江場四丁目自治会の間の一画と、JR・近鉄線路の西側で桑名高校の南から馬道駅に至る大字矢田地内に幾つか点在しています。天台宗の古刹で廃寺となった本願寺の寺領だった地で、東西2km、南北1・2kmに互って大小七十カ所ほどの飛び地から成り、大半は土地区画整理で消えていきました。市役所本庁舎すぐ西側の新矢田二丁目地内にある本願寺自治会も、かつて本願寺地内であった名残りです。

東鍋屋町にある天武天皇社は、本願寺村の神社で、このあたりが村の中心でした。現在では東鍋屋町自治会と伝馬町自治会が主体となつて管理運営する神社となっています。古刹本願寺は、その向かい側にありましたが、慶長の町割り以前は、現在の新屋敷西自治会のあたりにあり、その場所は天武天皇御足洗井(菊の井)の古跡となつています。ともに天武天皇とゆかりの寺社です。



天武天皇御旧跡の標石が立つ天武天皇社

近鉄益生駅の近辺で江戸時代から石取祭が行われていた町内は、馬道と西馬道ですが、ともに矢田地内の地内であり、両町に点在する本願寺の寺領地に人家が建ち始めたのは明治期に入ってからで、俗に中馬道、それに伴い馬道は東馬道と呼ばれるようになりました。石取祭は轅馬道として行われましたが、昭和二十三年に中馬道は解散、西馬道の町域にある中馬道は西馬道へ、東馬道の町域にある中馬道は東馬道へ併合されました。東馬道は平成十八年より旧名に復して馬道となっています。

### 御賛助いただいております 特別会員の皆様

(五十音順)

- 医療法人誠会 山崎病院様
- お菓子処「和」様
- カネソウ株式会社様
- 株式会社 グランビル様
- 株式会社 ケイディーエンジニア様
- 株式会社 山王鉄工所様
- 株式会社 東和様
- 株式会社 水谷精機工作所様
- 株式会社 レイ・ステージ桑名様
- 桑名信用金庫様
- 在日本大韓民国三重県桑名支部様
- 茶道具 山水園様
- 中央不動産株式会社様
- 辻内鋳物鉄工株式会社様
- 兎月堂様
- 花新江場中店様
- 花乃乃舎様
- 光精工株式会社様
- 三重精機株式会社様
- 森田フードシステム株式会社様
- 有限会社 茶茂様

目頃のご協力に對しまして、  
深くお礼申しあげます。

### 編集後記

今年の夏は異常でしたね。真夏日が続いていたと思えば、集中豪雨に遭遇する地区。四季のある日本、季節はまちがいに訪れて一年が終わっていきまます。文化・スポーツ・食欲の秋の到来です。芸術で楽しまれてる皆さん方のご協力を得て広報委員一同編集に励み、ここにお届け致します。これから新しい会員が増え、新しい風が吸収されて発展することを希望します。

(末廣英昭)



#### 広報担当副会長 委員

- 文学部門 丹羽 宗俊
- 美術部門 上田 順子
- 音楽部門 末廣 英昭
- 芸能I部門 山口 典久
- 芸能II部門 村瀬 昌子
- 芸能III部門 藤田 周岳
- 演劇部門 伊藤 好子
- 社会文化部門 早川 幸成
- 茶華香道部門 大河内 浩
- 趣味教養部門 三浦 幸子
- 加藤 誠